



No. 102

第十九回

全国生涯学習フェスティバル

まなびピア岡山2007

今年で十九回目を迎える全国生涯学習フェスティバル(まなびピア岡山二〇〇七)は、十一月二日(金)～六日(火)までの五日間、岡山県で開催します。主会場となる岡山県総合グラウンドのほか、大会史上初の県内全二十七市町村を会場とし、県下全域で開催します。

一 総合開・閉会式

フェスティバルの幕開けとなる総合開会式は十一月二日岡山シンフォニーホールで、生涯学習活動への取組などを、本県出身の坂手洋二氏の総合プロデュースにより展開し、フェスティバル開催を全国に向けてアピールします。

総合閉会式は十一月六日に倉敷市芸文館で、五日間にわたって開催したフェスティバルを回顧するとともに、学びの喜びを未来へとつなげていくフィナーレとします。

二 生涯学習見本市

桃太郎アリーナ内の生涯学習見本市には県内外の企業や団体がブース出展し、各種検定や、環境・健康・科学・文化など、様々な学びの情報が発信されます。

また、アリーナ二階には写真展示や読書のコーナーを設け、読み聞かせや大型紙芝居などを実施します。

三 生涯学習体験広場

屋外の体験広場には百を越えるテントを用意し、木工教室や楽器・土ひねり等の体験教室を実施するとともに、地産地消コーナーも用意します。屋内外のステージでは学びの成果を発表します。

四 記念事業

フェスティバルに対する関心と参加意欲を高め、多くの方々に「学び」を体験していただくため、「ミ

ステリーバスツアー」「岡山知の探検」など八つの記念事業を実施します。

様々な「学び」の発見の場を提供するだけでなく、県内全二十七市町村が地域の特色を活かして、これからの「人づくり」「地域社会づくり」につながる取組を展開していきます。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

(岡山県教育庁生涯学習課 全国生涯学習フェスティバル推進室)



市町村合併後の図書館 ④

●備前市

平成十七年三月二十二日に旧備前

市、日生町、吉永町が合併して、人口四万人あまりの新備前市が誕生しました。

図書館は、現在、旧市町単位に、備前市立図書館本館、日生分館、吉永分館の三つの図書館があります。

合併後、まず図書館電算システムを統一するため、日生・吉永分館の図書データ入力作業が行われ、平成十八年四月より、三館そろっての図書館サービスがスタートしました。

これにより約十一万冊の蔵書を利用することが可能になり、貸出冊数も六冊から十冊に増やし、三館いずれの窓口でも貸出、返却ができるようになりました。そして、六月には図書館のホームページからインターネット予約が出来るようになり、現在では、ほぼ毎日予約が入るほど定着しています。

さらに、県立図書館からの資料配送も週二回とし、本館から分館への連絡便も二回にするなど搬送体制を充実し、利用者にとっては、大変便利になりました。

その他、本館に大型ブックポストの設置、日生・吉永分館にブックポストの設置や書架の整備等を行いました。

また、昨年十一月には自動車文庫を新たに購入しました。旧備前市では、自動車文庫を二十年来運行して



いきましたが、車の老朽化や合併によりサービスエリアが拡大したのに伴い更新したものです。

この自動車文庫の特徴は、全天候型の電動リフト付きで車イスの方でもそのまま車内で本を手に行き渡ることができるなど工夫が施されています。

運行は、昨年十一月から始め、吉永地域の山間部やへき地指定の小学校、それに本年四月からは、日生地域の諸島へ渡り地理的に不便な方にも図書館を利用していただけるよう奔走しています。

このように、合併後備前市では、図書館電算システム等、利用環境の

整備に努め市民に利用しやすい、身近で愛される図書館運営にこころがけ、職員一同日々がんばっています。

(備前市立図書館 山口晋作)

### ☆個人会員の紹介☆

#### 二時と虹

高本 靖子



私が属している会の名前は「にじの会」正式には「図書館おはなしボランティアにじの会」といいます。

図書館で行う、おはなし会もお楽しみ会もその他の行事も、大抵午後二時から始まります。そして、私たちのおもいが虹のかけはしによって子どもたちに届きますように、私達も七色に輝いておられますようにそんな願いから、その両方の言葉をひらかなで現わしたのです。

鴨方の図書館は、昭和五十八年に誕生しましたから今年で二十四年目になります。開館時から職員と(当時私も図書館員でした)ボランティア(そのころ、こんな言葉で呼んで

いたかしら)でおはなし会をしておりました。月一回が二回となり、そして毎週土曜日午後二時からに定着したのです。それから延々と回を重ね、もう千回は越えたでしょうか。

高校生や、親子参加のお母さんをお願いして仲間になっていただいたりと多彩でした。なんとその時からの仲間が今も健在でおられます。子どもは大きくなって親だけ残りました。

それがボランティア団体として名乗りを挙げたのは平成九年の事でした。その頃、町内にはさまざまな分野のボランティアの会が生まれ、補助金も下さるといので会則を作り代表者を決め正式に「にじの会」を発足させました。現在の会員は十六名、四十代から七十代までの年齢層です。一昨年から男性もひとり加わり、活動にも幅ができました。

活動は、何といっても図書館での行事が中心ですが、町内三つの小学校と一つの幼稚園にそれぞれのやり方で行かせてもらっています。学校へ行くときは、その時々での学校側からの希望を聞いてそれに応えています。何しろ授業の一部をいただくのですからおもしろければいいってわけにはいきません。私達も真剣にならざるを得ないのです。今の所、幼稚園は一園ですが各学区の学童保育へも行かせてもらっています。い

ずれの場合でも、少しでも子どもたちに本の世界の楽しさをとねがっているのです。

私達にじの会会員は、いわゆるボランティア養成講座の修了生ではありません。好きな者が寄り集まって昔の徒弟制度よろしくコツコツと廻りを見聞きして自分で自分を磨いてきたのです。勿論、月一回の定例会での勉強や講師を招いての研修会があります。みんな自分で自分のこととして、少しずつ身につけてきました。先輩がそれとなく新人会員に助言もしますが、図書館司書の力を借りて助けてもらっています。選書ひとつをとってみても、皆さんとて



もい本を選ぶようになりました。その人らしい本ですが、さすがに積み重ねてきた力を感じます。

にじの会は図書館ボランティアですから、図書館が拠点であり、中心です。ということ、司書に借りる力も大なるものがあります。依頼も殆どが図書館を通してやっていますし、何かと相談にのってもらっているのです。

ボランティア活動は図書館業務ではありませんから、そうでなくても忙しい業務の間をぬって大変なことだとは思いますが。殊に鴨方の図書館のように、ひとりの司書、ひとりの正職員で何もかもというのはとても大変だと重々分かっています。が、やっぱり図書館があり、司書がいるということにじの会の私達も安心して活動ができるのです。安心して子ども達とつき合っていけるのです。

今、いろんな形でのおはなしボランティアの話聞きます。いろんな形があつて当然ですし、それはそれで今の社会が求めているものなのでしょう。でも、求められ、感謝されているからといって図に乗ることなく謙虚に活動しなければと思います。私達は人が好き、子どもが好き、子どもの本が好き、子どもたちに楽しい本の世界が手渡せたらーとねがつているだけなのですから。

### 充実した活動を目指して

企画委員長 吉信友紀子  
(岡山県立図書館)

昨年の春に企画委員のお話をいただいて、岡山県図書館協会の研修や会報の企画に関わる仕事をさせていただくようになりました。以前、協会の事務局員として会員の皆様に変お世話になったこともあつて、少しでもお役に立てればとお受けした企画委員でしたが、まさか委員長を引き受けることになるとは思わず、選出された瞬間「しまった…」と内心慌てました。私が委員長でいいのかしらととまどいつつも、副委員長の相見さんの助けを借りながら、何とか企画委員会の進行役を務めさせていただいています。

現在の企画委員は九名。館種や働く地域、経験年数の違う司書が集まって、研修では誰に講師をお願いしたらいいか、会報には何を載せたらいいかと、毎回知恵を絞って話し合っています。会の開始直後こそ、緊張のためか皆さん控え気味に発言されますが、会が進むに連れて様々な意見が出るようになり、まとめる事務局の方は大変なのではないかと思う時もあります。そんな話し合いの中から、徐々に

それぞれの図書館の状況や課題等が見え始め、それらを基に研修内容を決めていくのですが、話に詰まった時は事務局から情報を提供していただくこともあり、とても助かっています。こうして形になった昨年度の研修会や会報はいかがでしたでしょうか？私たちが企画委員が意見を出しあつた結果が、少しでも皆さんの参考になっていれば幸いです。

もし、研修会や会報のことで見やご希望がありましたら、お近くの企画委員までお知らせください。企画委員会で話し合う際の参考にさせていただきます。岡山県図書館協会の活動がより充実したものとなるよう、残りの任期を努めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

### 岡山県図書館協会活動報告

#### 新会員紹介

#### (施設会員)

環太平洋大学附属図書館

#### (個人会員)

小林 康広 (岡山県立図書館)

笠原 英明 (岡山県立図書館)

内田 浩太 (岡山県立図書館)

長山 博昭 (岡山県立図書館)

山田 裕史 (岡山市立中央図書館)

山崎 佳代 (岡山市立幸町図書館)

岸本 貴子 (岡山市立伊島図書館)

泉 信彦 (津山市立図書館)

上高久美子 (津山市立図書館)

國政 和典 (津山市立図書館)

藤原 啓子 (笠岡市立図書館)

渡辺 陽子 (高梁市立中央図書館)

山口 晋作 (備前市立図書館)

金谷 紀子 (赤磐市立中央図書館)

富山 義昭 (赤磐市立熊山図書館)

柿内 美子 (鏡野町立図書館)

浅野 智子 (岡山県立大学附属図書館)

岸本 京子 (就実大学図書館)

荒木 満子 (中国学園図書館)

大山佐知子 (中国学園図書館)

菅田美沙子 (順正短期大学附属図書館)

小川 政保 (新見公立短期大学図書館)

前川 敬子 (旭川荘厚生専門学校吉井川キャンパス)

伊丹 弥生 (文庫えびみなんだす)

森田 千穂 (岡山市立灘崎中学校)

横田 悦子 (岡山県議会)

河野 あゆみ (高梁市立高梁中学校)

### 定期総会報告

平成十九年度定期総会は五月二十八日に開催されました。主な決定事項をご報告いたします。

#### ●平成十九・二十年度役員

参与 鍋島 豊

会 長 (岡山県教育庁生涯学習課課長)

渡辺 真道 (岡山県立図書館館長)

副会長

成石 泰昭

山本 公子 (岡山市立中央図書館館長)

稲葉 英男 (早島町立図書館館長)

理 事 (岡山大学附属図書館館長)

大本 森

福島 厚生 (倉敷市立中央図書館館長)

小田 求 (津山市立図書館館長)

福意 昭教 (総社市図書館館長)

大森 満 (新見市立図書館館長)

柿内 美子 (赤磐市立中央図書館館長)

金光 和道 (鏡野町立図書館館長)

木村 東吉 (中国学園大学図書館館長)

窪津 誠 (岡山商工会議所専務理事)

本山 雅一 (岡山県立倉敷青陵高等学校)

永井 悦重 (岡山県立中央図書館)

原田 聖子 (岡山県立福浜小学校)

菱川 廣光 (岡山県立図書館副館長)

監 事

松本 武彦 (備前市立図書館館長)

大川内 司 (里庄町立図書館館長)

●平成十九年度事業計画

☆平成十九年度研修会・講習会

①五月二十九日(火)

図書館業務講習会

「新しい図書館員のために」

会場 岡山市立図書館

講師 渡辺 幹雄氏

②八月二十八日(火)

資料保存講習会

(県学校図書館協議会との共催)

会場 岡山市立図書館

講師 鈴木 英治氏

(吉備国際大学文化財学部教授)

③十月二十二日(月)

図書館業務講習会

会場 久米南町図書館

④十二月頃 教養講座

会場 未定

⑤二月頃 製本講習会

(県学校図書館協議会との共催)

会場 未定

☆読書活動推進

一日こども図書館フェスティバル

を共催します。今年度は備前市の備

前市日生地域公民館で七月二十八日

(土)に開催しました。様子はHP

をご覧ください。

☆刊行

会員名簿を希望者に配付します。

個人情報取り扱いに配慮した結果、今年度から氏名・所属のみの掲載とさせていただきます。

また、会報「岡山のとしよかん」を年三回発行します。

●施設会費について

岡山県図書館協会施設会費については、平成十八年度定期総会において、改正しており、平成十九年度分から適用されております。この改正により市町村立図書館においては、中心館が施設会費を納めればその市町村内の図書館は全て施設会員となります。

●平成十九年度図書館功労者表彰

次の方々が表彰されました。おめでとございます。(五十音順)

相賀 正実 様

(金光図書館)

大西 結美 様

(岡山県立倉敷青陵高等学校)

岡崎 京子 様

(岡山市立中央図書館)

岡本 紀子 様

(岡山市立福浜小学校)

河村 裕美 様

(くらしき作陽大学附属図書館)

清友久美子 様

(岡山県立図書館)

武下たけ子 様

寺前華奈江 様 (津山市立図書館)

土師 裕子 様 (倉敷市立水島図書館)

(ノートルダム清心女子大学 附属図書館)

平田 智美 様

(岡山市立岡山中央小学校)

森山 康子 様

(倉敷市立中央図書館)

●編集後記

今年度より事務局員となりました内田です。よろしくお願いいたします。

まず、本号の発行が大変遅くなつたうえ、四頁と大変少ない頁数となりましたことをお詫びいたします。

今後とも、皆さんのご期待に応えるべく、よりよい会報づくりに取り組んでいく次第ですので、叱咤激励

よろしく願います。

平成十九年八月三十一日  
 〒七〇〇一〇八二三  
 岡山市丸の内二一六―三〇  
 岡山県立図書館  
 メディア・協力課 図書館協力班内  
 岡山県図書館協会  
 会長 渡 辺 真 道  
 (〇八六)一三二四―一二六九